

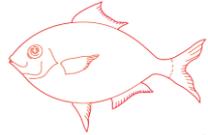
# 2歳児クラス 2月 第1回 「いちくん にいくん さんちゃん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	・講：絵本の表紙を見せ「今日のお話は、仲よし働き者の3兄弟のお話…3人が持っているのは何かな？どこか行くのかな？」などと三兄弟に興味を持たせてからお話を始める。	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①大きな魚を釣る場面では「みんなで応援しなくちゃ」の言葉と共に子ども達も一緒に釣り上げる気持ちで応援。次の大きな魚のページでは画面を動かしてダイナミックに演出して見せる。 ②途中、魚釣りに出掛ける時・最後獲物を担いで帰る時のことばはリズムをつけながら楽しく歌うように読み進める。	保育士の役割	・子どもと一緒に なってお話を 楽しむ

## がくしゅうタイム

活動①	表現	お話を思い出して魚釣りを楽しむ。		
設問	みんなで魚釣りに行こう！大きな魚が釣れるかな？			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「3人兄弟大きな魚が釣れて良かったね」</li> <li>・保：「先生見てみて！」提示用に鱗を貼って完成させたプリントを担いで嬉しそうに登場。</li> </ul>		教材	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「大きな魚、どこで釣って来たの？先生も釣りたいな！」</li> <li>・保：「向こうの池で釣って来たの。みんなも釣りに行かない？」</li> <li>・講：「良いね！みんなで様子を見てみようか？行きたい人！」と子ども達の意欲を引き出し、事前に準備した池まで誘導する。この時お話を思い出し、リズムにのって机の周りを一周するなど、楽しく演出して気分を盛り上げる。</li> <li>※池はブルーシートやウレタンブロック等で子ども達が取り囲める大きさのものを準備。プリントをばらまく様に池に広げ、紙テープは池の外側に子ども達が引っ張り易い様に出しておく。またブルーシートの場合、プリントはシートの下に隠して置くと良い。</li> <li>※スペース的に無理な園は一周して歩いた後に席に戻り、青い画用紙などにプリントを挟みテープを外に飛び出る様に垂らして準備、その場で子ども達の前方からテープを引かせても良い。</li> <li>「(池から伸びたテープを手に) この先にお魚いるのかな？先生引っ張ってみるからみんなも応援して…よいしょ！」と大きなリアクションと共に魚を引っ張り釣る。「わー！大きな魚が釣れたよ。みんなも釣ってみよう！」</li> <li>・子：講師同様「よいしょ！」と気分を盛り上げテープを引いて魚を釣り上げる。</li> <li>・講：「やったね！じゃ、みんなで帰ろうか」子ども達と一緒に釣った魚を担ぎ、来た時同様、机の周りを一周するなど、リズムに合わせ楽しく席に戻る。プリントの魚をみんなで見せ合い「大きな魚。キンメダイって言うんだって」と名前を確認し、みんなで頑張って釣り上げたことを称賛。このまま活動②へ進む。</li> </ul>		P1 紙テープ 1人1本 ※事前に配布プリントに1本ずつ貼って準備する 提示用魚セット ※事前に鱗を貼り紙テープを付けて完成したものを準備 ★池 ※ブルーシート・ウレタン積み木等園にあるもので準備	
	保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> <li>・池を準備する</li> <li>・提示用プリント提示</li> <li>・安全への配慮</li> <li>・エレピ演奏</li> <li>・魚釣りを盛り上げる</li> <li>・称賛</li> </ul>	
活動②	巧緻性	はさみの使い方を思い出し、紙帯を細かく切り、プリントの魚に指のりで貼ることができる	活動①と同じ	
設問	真っ白な魚に、鱗をはさみで切って貼ってあげましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「大きなキンメダイが釣れたけど、でも何か変だね？何か違うね」</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：子ども達に問いかけ、色が無いことに気付かせる。「キンメダイは何色だった？(絵本やシアターで確認しても良い)色が『赤』であることを確認。「良いこと考えた！」と紙帯提示。「これで赤い鱗を作ってあげよう」とはさみを使うことを子ども達と確認し、紙帯をはさみで切り、のりで貼るところまでを見せる。</li> <li>&lt;見本行動&gt;                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①前回(1月2回)の活動を思い出しはさみの持ち方を確認。「グー・パー」とはさみの開閉の動きを見せる。</li> <li>②紙を持つ手を確認(はさみと反対側の端を持つ)。</li> <li>③線を良く見て、持つ手の反対側の端から線の上を「チョキン、チョキン」と切り進め</li> </ol> </li> </ul>			P1 (活動①で釣ったもの) 鱗用紙帯(線あり) 1人1本 鱗用紙帯(線なし) 1人3本 鱗予備(すでに切っているもの) 提示用紙帯(線あり・線なし) はさみ

<p>持つ手が邪魔になったら「持ち替えて」と言いながら持つ手をずらし、最後まで切る。          ※状況により線から外れる、添える手を動かさない見本行動を見せる。</p> <p>④ 1枚切り終わったら2枚目は線が無い紙帯を提示し、「今度は線が無いね、(だいたい)このくらい?」と言いながら同じくらいの大きさで切って見せる。</p> <p>⑤ 切った紙は皿に入れ、はさみは片付ける。</p> <p>⑥ 指のり提示。気持ち良い感触・匂いなどの感覚行動を行った後、のりを魚のおなかに塗り広げてから鱗を貼っていく。この時指先に付けるのりの量、薄く伸ばすところ、お手拭の使い方までを見本でしっかり見せていく。</p> <p>「みんなのお魚も赤くしてあげようか?」と誘いかけ意欲を引き出す。</p> <p>・保: 配布用紙帯(線あり)提示。「今日はおはじき4個と交換です」</p> <p><b>数にチャレンジ</b> ・講: 見本行動。おはじき「4個」入った皿提示。「いくつ入っているか数えてみるね。みんなも一緒に数えてね」と子どもたちと一緒に数を数えながら掌に取り「4」を確認。紙帯(線あり)1枚と交換する。</p> <p>・子: 見本同様、自らおはじきの数を確認し紙帯と交換(余裕があれば買いにいく)。講師の見本行動を思い出し制作を開始する(プリントの紙テープは外して良い)。紙帯は線ありの1枚が切れた子から線なしの紙帯を配布。紙を切り終えた子に、はさみと交換で指のりとお手拭きを配布していく。          ※紙帯の目標枚数は線有1枚+線無し1枚。その他クラス・子どもの状況に合わせて配布。時間で鱗の足りない子には予備より切れたものを足してあげてください。</p> <p>・保: 必要に応じてはさみ、のり貼り(時間がかかりそうな子)の補助をしながら一緒に鱗を埋めていく。</p> <p>・講: 完成した魚を見せっこして称賛。「この魚どうしようか?」と問いかけてみたり、のりが乾くまで意欲ロープに挟むなど指示を出して終了する。</p>	<p>のり、のり用手拭き おはじき4個・皿</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布用紙帯提示</li> <li>・ おはじきの入った皿配布</li> <li>・ おはじきと交換で鱗用紙帯配布</li> <li>・ はさみ、のり、お手拭き配布</li> <li>・ 必要に応じてはさみ・のりの補助、個別指導</li> <li>・ 安全への配慮</li> <li>・ 称賛</li> </ul>
--	---

数チャレ	数	お皿の中の「4個」のおはじきを数えることができる	教材
問題	お皿のおはじきを数えて(4個)鱗のもとと交換しましょう		
内容	※<活動②>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	魚の大きさをダイナックに表現する工夫が出来たか 場面ごとに子ども達の参加の仕方を工夫し、「釣り」を一緒に楽しむことが出来たか
活動① 表現	魚釣りの楽しさを感じられるよう、環境設定を行ったか
活動② 巧緻性	はさみを自主的に使うために、保育士と指導の仕方を共有出来たか のりを嫌がらずに楽しく使いながら「適量」を意識させる指示・指導が出来たか
数チャレ	次学年を意識しながら数の指導を行ったか

**楽習タイム♪**

\*\*\* テーマ・巧緻性 \*\*\*

**雪だるま作り**

**<作り方>**  
 写真① 色の濃い紙台紙に、白のクレヨンで雪だるまの枠を描いたものを準備。  
 写真② 白い画用紙を帯状に準備。はさみで小さく切り刻み雪をたくさん作る。  
 写真③ のりを雪だるまの枠の中に塗り広げ、刻んだ雪をバラバラと散らす様に貼っていく。  
 写真④ 目・口はシールや画用紙で作って貼る。

**<はさみ指導のポイントと約束>**  
 ★はさみの使い始めのこの時期は子どもの手の大きさに合った(特に指入れの穴のゆるみが少ないもの)刃先の丸いものを選びましょう。  
 ※切る紙はハガキや画用紙位の厚さがこの時期は切り易い。  
 ★姿勢よく座り、はさみは胸の前で垂直に構えるのが基本。もう片方の手はしっかり紙を持ち、はさみの動きに合わせて「持ち替えて」をキーワードに動かします。その時ははさみの進行方向に持ち手が無いことも大切なポイントです。  
 ※はさみを持ち運ぶ時は、刃が閉じているほうを持ち、刃を人には向けない。  
 ※1人では使わない(大人と一緒に居る時に使う)。



はさみの上達はたくさん切ることが一番の近道! 「危ない」と敬遠せず使い方、約束を守れば大丈夫。日頃から身近に置いて積極的に使える環境を整えてあげましょう。

**今月のえかきリズム**

\*\*\* ビスケッ ト \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

